

2010 年生田緑地ゲンジボタル調査報告

亀岡千佳子*¹ 新村 治*²

The report of the firefly at Ikuta-Ryokuchi Park in 2010

Chikako Kameoka *¹ Osamu Nimura *²

I はじめに

青少年科学館では1983年～1987年・川崎市自然環境調査Ⅰの水
生昆虫調査で生田緑地の谷間の探勝路にゲンジボタルの幼虫が生
息し、5月下旬頃から7月初旬頃まで成虫も多数発生していること
が確認された。以来生田緑地のホタルについて注目し、ピーク時の
みの発生数の確認作業を行い、1993年の青少年科学館紀要で木下
が観察記録を発表している。その後、生田緑地内にはゲンジボタル
を含め7種のホタル、ムネクリイロボタル、カタモンミナミボタル、
ヘイケボタル、オバボタル、スジグロボタル(林1991)、クロマド
ボタル(川田・岩田・高橋・昆虫班1995)が確認されている。

1998年からはゲンジボタル成虫の初見日～終息日までの発生カ
ウント調査をおこなっている。2010年で13年目になる。また、併
せてスジグロボタルの幼虫の発光確認作業もおこなっている。調査
は館職員と、2002年度からホタル調査員の皆さんが加わった。2010
年の調査結果がまとまったので報告する。

II 調査方法

設定した調査日の19時に青少年科学館に調査者が集合し、19時
30分までに調査者を調査場所に向かわせ、19時30分から19時50
分までの20分間に目視により発光を確認したホタル数を記録した。
調査者が足りず、調査場所に調査者を張りつけることが出来ないと
きは、20分間に調査場所を巡回し調査した。数人で調査した場合、
個人によりカウント数にばらつきが生じたが、その場で協議し、概
ね平均数を記録した。記録は発光ホタル数の他に調査時の天気と気
温を調査票に記入した。また、調査場所は昨年発生が確認された6
ヶ所と、以前に発生が確認されていたが現在は確認されていない場
所の3ヶ所をくわえ、9ヶ所とした。

III 調査期間

生田緑地の成虫初見日は過去5年間(2005年6月11日、2006年
6月6日、2007年6月9日、2008年6月6日、2009年6月7日)
の初見日を考慮し、調査開始日を5月31日からとした。調査終了
日は、過去5年間の終息日(発生数が0と確認出来た日、2005年7
月16日、2006年7月14日、2007年7月15日、2008年7月20日、
2009年7月12日)を考慮し7月15日とした。ただし、成虫発生
が7月15日を過ぎる場合は、それ以降も発生が終息するまで調査
を行うこととした。

IV 調査場所

- ① 駐車場奥
- ② 奥の池
- ③ 奥の池南側谷戸

- ④ 旧岡本谷戸
- ⑤ 科学館奥
- ⑥ マレーゼの谷(戸隠谷戸)
- ⑦ 湿地帯下休耕田(ホタルの里)
- ⑧ 谷間の探勝路(木道)
- ⑨ 藤棚の池

の9ヶ所

V 調査参加者

新村 治 米倉 竜司 菊池 なつみ
栗須 正則 武田 健人 成川 秀幸
國司 眞 亀岡 千佳子

(8名)

延べ調査者数 50名

VI 調査結果

調査結果は表1。

天気は調査時、気温は調査日の20時のもの。

VII まとめ

- ・ 2010年の成虫発生は初見日が6月10日、終息日は7月18日
であった。初見日は1998年～2009年までの平均日6月6日より
も4日遅く、終息日は同平均日7月14日より4日遅かった。
- ・ 初見の場所は6月10日、⑦湿地帯下休耕田(ホタルの里)1
と⑧谷間の探勝路3、最終確認は7月18日⑦湿地帯下休耕田
(ホタルの里)1であった。
- ・ 生田緑地全体の延べ発生数は539匹であった。2009年より約
0.9%減少し、1998年から2009年までの延べ発生数平均値646
匹より約0.8%の減少になった。
- ・ 延べ発生数は①駐車場奥131、⑤科学館奥74、⑥マレーゼの
谷4、⑦湿地帯下休耕田(ホタルの里)139、⑧谷間の探勝路
188、⑨藤棚の池3であった。湿地帯下休耕田(ホタルの里)の
延べ発生数が去年より43%も減少している。
- ・ 各調査場所の1日の最多確認数は、①駐車場奥(31)6月27日、
②奥の池(確認されず)、③奥の池南側谷戸(確認されず)、④
旧岡本谷戸(確認されず)、⑤科学館奥(26)6月24日、⑥マ
レーゼの谷(戸隠谷戸)(1)6月19、27、28、29日、⑦湿地帯下休耕
田(ホタルの里)(26)6月22日、⑧谷間の探勝路(木道)(55)6
月24日、⑨藤棚の池(1)6月19～24日であった。
- ・ 今年の生田緑地全体での発生数のピークは6月22～29日にか
けてだった。
- ・ 2010年も②奥の池、③奥の池南側谷戸、④旧岡本谷戸、では

*¹川崎市青少年科学館 *²ホタル調査員

ホタルの発生数は確認できなかった。しかし⑥マレーゼの谷（戸隠谷戸）では今年も1匹確認できた。同じようにしょうぶ園上藤棚池滝のあたりで1匹飛翔しているホタルを確認した。

- ・ 2010年は初見日が平均日より4日遅かったため、ピーク時も4日後ろにずれて遅くなった。最終日は去年とほとんど変わりがなく7月18日であった。

ホタルは約7年周期で自然増減を繰り返すと言われている。1999年に生田緑地延べ発生数が1041、その後発生数は減少し、2007年、2008年と増加した。2009年は減少に転じて、2010年も僅かではあるが発生数は減少している。これは自然の増減であるのか、来年度も引き続き調査を継続していきたい。

終わりに、暑くて多忙な中、青少年科学館に立ち寄り、ボランティアとして調査に協力して下さった方、また調査を支えて下さった科学館スタッフの皆さまに厚く感謝申し上げます。

表1 2010年 生田緑地木タム調査結果表

月	日	曜日	天気	気温	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	備考
5	31	月	曇	17.2	0	—	—	—	0	—	0	0	—	
6	1	火	晴れ	15.8	—	—	—	—	0	—	0	0	—	
	3	木	快晴	19.8	—	—	—	—	0	—	0	0	—	
	6	日	曇	20.1	—	—	—	—	0	—	0	0	—	
	8	火	雨	18.4	—	—	—	—	0	—	0	0	—	
	10	木	雨	22.0	—	—	—	—	—	—	1	3	—	
	12	土	快晴	24.0	0	—	—	—	0	—	4	0	—	
	15	火	雨	24.0	1	—	—	—	0	—	2	5	—	
	17	木	晴れ	26.2	4	—	—	—	4	—	10	10	—	
	19	土	曇	25.9	6	—	—	—	8	1	22	19	1	
	22	火	快晴	23.8	17	0	0	—	16	0	26	27	1	
	24	木	曇	23.6	27	0	0	0	26	0	22	55	1	
	27	日	曇	25.2	31	—	—	—	5	1	19	27	—	
	29	火	曇	25.1	25	—	—	—	8	1	17	12	0	
30	水	曇	—	—	—	—	—	5	—	—	—	—		
7	1	木	晴れ	25.9	13	—	—	—	2	1	8	20	—	
	6	火	曇	26.3	4	—	—	—	0	0	3	4	—	
	8	木	快晴	24.9	2	—	—	—	0	0	3	2	—	
	13	火	曇	21.0	1	—	—	—	—	—	0	2	—	
	15	木	快晴	26.4	0	—	—	—	0	—	1	2	—	
	18	日	晴れ	27.1	0	—	—	—	—	—	1	0	—	
	22	木	晴れ	29.2	—	—	—	—	—	—	0	0	—	